

令和5年度 第4回 佐久間中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月16日（金） 14時30分から16時まで
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室（2階）
- 3 出席委員 高氏 秀佳、笹野 訓子、向坂 美保、奥山 和子、山本 巖、  
平賀 むつみ、古尾 春子
- 4 欠席委員 鈴木 千穂、馬場 真弓、北島 裕介
- 5 学 校 西田 亮（校長）、瀬戸 一志（教頭）、高原 英樹（教務）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 海賀 志美
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、奥山委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

熟議

- 学校関係者評価について
- 来年度の学校運営の基本方針について
- 学校運営協議会の自己評価について
- 夢育やらまいか（CS加算分）について

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 前回会議録の確認

(2) 今年度の学校運営協議会の取組報告

- ・山野草、草木染め講座
- ・体育祭前のグラウンド整備
- ・家庭科のお弁当づくりと地域での販売等

(3) 熟議

○学校関係者評価について

議長の指示により、教務から、別紙資料に基づき報告があり、委員からは、以下の発言があった。

1-③について、自分が中学生の時はやりたい事が明確ではなかったが、今の子どもたちは自分の将来のことをちゃんと考えているのか？（高氏会長）

小さい時はこういうものになりたいなど簡単に言っていたことが、だんだん自分の夢と現実のギャップが出てきてなかなか簡単に考えられなくなっているのだと思う（笹野委員）

学校評価を見るとどうしても教員の数字が低いところ(1-③、3-③)に目がいてしまいが、この数字を受けてどのような話し合いがあったのか?(山本委員)

キャリア教育の視点が年度の途中から入ってきてはじまったばかりなため不十分という結果であったかなと思う、来年度のグランドデザインで示されるがもう少しキャリア教育を前面に出して我々も見直していかなくてはならない(教頭)

あくまで自己評価なので目指すところまでいってなかったという結果を受けとめ、次につなげていってもらえれば良いと思う(笹野委員)

#### ○来年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

前のグランドデザインと比べて文字数も少なくなっていて見やすく良い(山本委員)

かなえる力の中の“ふれあいバス存続のためのアルミ缶回収”は子供たちとどういうつながりがあるのか教えてほしい(山本委員、高氏会長)

数年間取り組んでいる事で、前のグランドデザインの時の郷土に貢献という事が前面に出ていて、ふれあいバスの利用者が少ないと減便につながり不便になっていくので、少しでも貢献出来たらという思いではじめた事。こういう働き掛けがきっかけで新年度に生徒がいる地域に路線が復活したり、バス停が遠かった生徒の家の近くにバス停が移動する予定で話が進んでいるので意味のある取り組みであったと思う(教頭)

例としてふれあいバスよりわかりやすいものに変えたいと思う(校長)

「自分時間」の設定とあるが、子供たちは具体的に何をやっているのか教えて欲しい(笹野委員)

絵を描く子、教科の勉強する子、体育館で球技をやる子など様々(教務)

学校評価項目に関連する活動場面が書いてあると評価しやすいので検討してもらえれば良い(山本委員)

協議の結果、全員異議なく来年度の学校運営の基本方針を承認した。

#### ○学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、別紙の資料に基づき教頭から説明があった。

#### ○夢育やらまいか(CS加算分)について

議長の指示により、別紙の資料に基づき教頭から今年度の夢育やらまいかCS加算分の使途について報告があった。

#### その他報告事項等

- ・もっと学校の行事を教えてもらえると地域の人たちに共有できる(笹野委員)
- ・前回の協議会の時に浜松市の教育委員会から持続可能な取組にしていけるために委員の任期をどういうふうにしていけば良いのかを考えてもらいたいという事を受け、校長から以下の発言があった。

任期3年の中で2年目の最後の協議会時に3年目のご意向を伺い3～5名を新しい人に入れ替えてやっていくという方法はどうか、という提案があった。

司会から、次回会議は、令和6年4月5日(金)午後14時30分から佐久間中学校会議室で開催する旨の報告があった。